

19. (Gno.53) 環境法政策の国際比較研究

代表：牛嶋 仁

2007/02/05 (承認) 2007年度 (開始)

【研究の目的】

環境法政策に関して広く国際比較研究を行う。特に、日米欧の比較研究が中心になるが、研究の拡がりに応じて、アジア諸国との比較も行いたい。

【研究活動及び成果】

総括

例年と同様に、各メンバーの研究について研究会にて報告いただき、当該テーマについて議論する方法をとった。研究会では、報告テーマによって学内の公法研究会や国際関係法研究会などのメンバーにも参加を案内し、多様な参加者により、研究や議論の内容が豊かになるよう努めた。

口頭発表

2022年5月14日 宮原均 (東洋大学法学部教授)

「アメリカにおける財産権への制約(regulatory takings)と正当補償—財産権への遡及的不利益変更と内在的(implied)制約」

2022年7月2日 小林寛 (信州大学経法学部教授)

「洋上風力発電に関する最近の日米主要判例の分析—ケーブ洋上風力発電事業等に係る裁判例を素材として」